

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Oxford 大学Jesus College” テーマ研修&プロジェクトワーク”
-----	--

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	平日の昼食代、ロンドンでの飲食店、アフタヌーンティー
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10578 円	海外携帯市場で無制限プランを購入
現地通学費	12728 円	バス Stagecoach(研修先まで60-80分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	3400 円	ホストマザーへのプレゼント
その他	46078 円	例:お土産(紅茶、オックスフォードパーカーなど)、ロンドン宿泊日、交通費
合計	112784 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 新宿駅の両替所で80ポンド分換金
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

主にクレジットカードで支払いました。念の為、4枚持っていきましたが、防犯の観点から2枚のみ持ち歩き、携帯に登録している人も多くいました。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

UTS の資料に同封されていた海外携帯市場の eSIMを用意しました。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

室内用スリッパ、防寒用の部屋着

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に危険な目に遭うことはありませんでした。ホストマザーなどに現地の対策を聞き、スキミング防止用のカードケースの持ち歩きや、前に鞆を下げ、手を近くに置くなどの対策を行いました。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

無制限を購入しましたが、12ギガしか使わなかったため、もう少し容量が少なくても良かったかなと思います。イギリスは、インターネットの通信が悪い場所も多いため、携帯の使用が困難だった場所が多かったです。電車やバスの時刻表は、スクショの保存や紙の書き写しが有効でした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストマザーがとても親切で、約2週間快適に過ごすことが出来ました。お家で飼っていた犬2匹とも、一緒にベッドの上で寝るなど、仲良くなりました。生活をする上で自然と英語を話す機会も増えるため、短期間ではありますが、リスニング力の向上や、現地の生活様式を学べる貴重な機会となりました。短期留学の際は、ホームステイを強く推奨します。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

午前の授業では、オックスフォードの建築、文学、SDGsについて学びましたが、先生の英語が分かりやすかったです。特に教室で紙面上で学んだ建築は、その後先生の引率で街に繰り出し、実際に目で建築の特徴や構造を見ることが出来て、新鮮な体験でした。ディスカッションやプレゼンテーションなど、難しい課題もありましたが、仲間と協力することで、仕上げる事が出来ました。午後は、建築についてのビデオを仲間と制作しました。構成を考える所から撮影、編集まで、今までやったことなかった授業形態でしたが、勉強になり、とても楽しかったです。

2)課外プログラムについて

週3回程度、授業後に歴史的な建物やクリームティーなど、様々なアクティビティを行いました。特に Jesus college の2人の学生さんと話す機会は貴重であり、印象に残っています。課外プログラムを通して、仲間との仲を深めるきっかけともなり、とても楽しく、思い出深いです。

3)現地での生活に関すること

食費・交通費が特に高かった印象です。しかし、朝夜はホームステイ先で食べることが出来たので、お昼には仲間と美味しいご飯を探しに街に行ったのも良い思い出です。多文化が共生している街だからこそ、色々な国のご飯を楽しむことが出来ました。ホームステイ先が市内から遠く、バス・徒歩合わせて約1時間程度かかりましたが、オックスフォードの街はとてもきれいで毎日映画の世界にいる感覚であり、全く辛く感じませんでした。ホストマザーがとてもフレンドリーな方で、毎週末には友人とのホームパーティーに招待してくれたり、最後の休日にはコッツウォルズやウッドストックに車で連れて行ってってくれるなど、充実した時間を共に過ごすことが出来ました。仲良くなった分、帰国日のお別れが寂しかったですが、またイギリスを訪れ、再会の約束をしました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

Jesus college の学生さん2人と話す機会が設けられていました。現地の学生の生活の話を知ることができ、とても興味深かったです。特に、1年生は全員寮に暮らす規則があることに驚きました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特になし

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

イギリスの人たちは親切な人が多く、困っているとすぐに助けてくれます。特に大きな異文化体験は感じませんでしたが、家の夜ご飯が基本的にワンプレートであることや、シャワーの頻度が日本人に比べて少ないことは日本人との違いかなと思います。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私が本プログラムに応募した理由は、幼い頃から一番行きたい国であったイギリスに、せっかくなら旅行ではなく、短期留学で行こうと思ったからです。この短期留学で私自身が設定した目標は2つあります。1つ目は自立・自律です。普段は実家暮らしのため、多くのことを両親にやってもらうのが当たり前でした。しかし、見知らぬ場所に一人で行く事によって、他人に頼らず自分で行動する力をつけることを目標として設定しました。ホームステイ先で部屋の掃除や、食後のお皿洗いなどの家事を積極的に行いました。それ以外にも、自立の第一歩として大きな挑戦をしました。それは、コッツウォルズへの一人旅です。見知らぬ土地に一人で、鉄道とバスを乗り継いで行きました。ネットも繋がらなかったため、人伝いに教えてもらいながらやっと辿り着いた景色は、鮮明に記憶に残るほど感動したことを覚えています。普段ならお店や行き方など、同行者に調べてもらい、連れていってもらおうことがほとんどでしたが、前日の夜にガイドブックやSNSを通じて下調べを行ったことも私にとっては小さな成長とも言えるでしょう。今までは考えすらなかった一人旅でしたが、この経験を基に次にも活かそうと思います。

次に、2つ目の目標は、日常的に英語に触れることです。この目標を果たすために、ホームステイを選択しました。毎日の放課後、家に帰るとその日にあった何気ない出来事をホストマザーに話すなど、英語を使用した些細な日常会話が私にとっては絶好の機

会であり、大切な時間となりました。毎晩、食後に英語字幕付きで鑑賞した洋画も勉強になりました。学校でも、オール英語で講義を受け、仲間ともディスカッションやプレゼンテーションを英語ですることによって、短期間ではありましたが、自身の英語力に繋がったと思います。このモチベーションを継続させ、今後の英語の勉強に活かしていきたいです。

そして最後に、出国前には想像ができなかったことについて話して留学体験記を終えたいと思います。それは、一緒にプログラムを遂行した日本人の仲間たちです。それぞれがホームステイで仲良くなれると思っていませんでしたが、見知らぬ土地で、心強い仲間を得ることが出来ました。楽しかったことや辛かったことを学校で共有することで、絆を深めることが出来たと思います。イギリス短期留学で偶然揃った7人の縁を、これからも大切にしていきたいです。人生においてターニングポイントになったとも言えるような思い出を作らせてくださった、先生方、仲間たち、そして両親に感謝を伝えたいです。貴重な体験をありがとうございました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Oxford 大学 Jesus College プログラム
-----	-------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	基本テイクアウトだと安くなる。
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	8000 円	
現地通学費	9000 円	(研修先まで 40 分)ウィークリーパスを購入
教養娯楽費	円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
合計	47000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 用意しなかった
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

すべてクレジットカードのタッチ決済で行った。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

Esim を渡航前に準備すると良い。特に Vodafone を直接契約すると繋がりやすい。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

冬だったので、貴重品は上着の内ポケットに常にしまって、盗まれないように上着を閉めて移動していた

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

接続は結構つながらないこともあった。インターネットは繋がりがやすい。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

滞在先は基本不自由なく過ごせたが、自身のしたいことをホームステイ先の人にすべて伝えると円滑に関係を築ける。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

少人数で受けられるので、先生と深く関わり、質問や討論などを充実して行うことができる。また、学んだことを実際にオックスフォードの生活やまちなかで体感できるため学習の理解度が高まる。ただの英会話ではなく、英語を用いて何かをするという力が身につけやすい。しかし、授業への積極的な参加が重要である。

2)課外プログラムについて

オックスフォードの歴史的な施設を実際に見学でき、現地の学生との交流を直接する機会があり、英語でのコミュニケーション力だけでなく、彼らの学習に対する姿勢や価値観にも触れることができる。

3)現地での生活に関すること

現地での生活は英語を実践的な使用方法を経験できる。実際にホームステイをして、少しでも現地の人と近い形で生活できるので、海外の様々な面をより身近に体験でき、異文化理解が深めることができる。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

課外活動ではオックスフォード大生と会話する機会があり、主に日常生活や大学での学習について話をする中で、彼らが自分の専門分野に強い関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいることが印象的であった。また、オックスフォードのカレッジの中を案内してもらい、寮の中やよく使う場所を教えてもらった

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

現地での生活の中で、日本との違いとして特に印象に残ったのは食文化と日常の過ごし方である。まず紅茶について、紅茶はミルクを加えて飲むのが一般的であり、毎食のように飲む人も多かったが、特に朝に飲む習慣が強いと感じた。日本ではストレートや無糖で飲むことが多いため、この点は大きな違いであった。

また、食事に関しては、日本でよく食べられるスパゲティーだけでなく、ペンネなど様々な種類のパスタが日常的に食べられていた点も印象的である。さらに、休日の過ごし方にも違いが見られた。日本では休日に外食することが比較的多いが、現地では家で食事をしたり、弁当を持ってカントリーサイドや公園で食べるなど、自然の中でゆったりと過ごす人が多かった。

加えて、街のつくりにも違いがあり、横断歩道が日本より少ないと感じた。また、信号で横断できる時間が非常に短く、素早く渡る必要がある点も印象に残っている。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回のプログラムを通して、オックスフォード大学での研修や現地での生活は、自分の視野を大きく広げる貴重な経験となった。特に、クライスト・チャーチやセント・メアリー教会を訪問し、歴史ある建物を実際に見ることで、大学の長い伝統や文化を実感することができた。授業で学んだキリスト教を通じた文化や建築についての知識も、実際に自分の目で見ることで理解の解像度が高まったと感じている。また、現地の学生との会話を通して、彼らの生活や大学の違いについて深く知ることができ、自分の価値観を見直すきっかけとなった。こうした経験から、主体的に学ぶ姿勢の重要性を強く実感した。

今後は、この経験を活かし、日々の学習により積極的に取り組むとともに、自分の意見を英語で発信できる力を高めていきたい。また、異文化に対して柔軟に対応する姿勢も大切にしていきたい。英語力に自信がなくても積極的に話しかけることが重要であると認識した。自ら行動することで得られる学びは非常に大きく、プログラムの価値をより高めることができる。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Oxford 大学 Jesus College プログラム
-----	-------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	思ったより高くなかった(お店を選べば1食 1500 円以内で済ませることも可能)
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	e sim 代のみ
現地通学費	10000 円	研修先までバスで 20 分。乗り換えなし。
教養娯楽費	80000 円	交通費がとにかく高かった。ミュージカルを観たり高級アフタヌーンティに行ったりとイギリスならではの経験にはお金を惜しまなかった。
被服費	0 円	洗濯物はホストマザーがやってくれた。
雑費	0 円	
その他	40000 円	お土産代
合計	186000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**

現金の用意方法: 必要なし

その他用意した物: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**

Apple Pay が使える場所が日本よりも何倍も多かったのと財布をいちいち出すとスリが怖いのでカードを Apple Pay に登録しておくことをおすすめする。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**

海外携帯 ichiba という会社の esim を購入した。どこの会社の通信手段であっても電波が悪いことが多かった。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**

ホストファミリーに最後に渡す便箋を日本で買って持ってくれば良かった。(私は現地で調達したが、日本らしい便箋で渡したかったなど後悔)。他は必要なし。1ヶ月以内の短期留学の場合、日本食を持ってくる必要はないと個人的に感じた。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

危険な思いは一切しなかった。思ったよりも治安が良かった。ただ、念の為スマホにはストラップをつけて首からかけて過ごしていた。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**

家や大学など Wi-Fi があるところでは不便は一切感じなかったが、それ以外の街中では日本と比べて電波が悪かった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

英語力向上のため自室はあったが、なるべくリビングにるようにしていた。その方がホストファミリーとの会話も増え仲が深まると思うので、良かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良かった点としては世界一の大学の教室を使って学べることとその学生を間近で見れること。良くなかった点としては授業に参加している生徒が全員日本から来た日本人なので日本の大学で英語の授業をしているのと変わらないこと。

2)課外プログラムについて

課外プログラムが多かったため毎日暇することなく充実した日々を送れた。

3)現地での生活に関すること

イギリス人は本当にみんないい人だったので、分からないことがあったら積極的に現地の人に質問した方が良い。また、日本食のお店がたくさんあるので現地で日本食が食べなくなったら食べれるので安心。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

50分ほどオックスフォード大生に質問ができる時間があつた。2人のオックスフォード大生が来てくれて将来のことやオックスフォードのことなど様々な質問ができた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

なし。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

冬だったこともあり、お風呂で湯船につからないことが一番のカルチャーショックだった。それ以外に関しては短期留学だったため、特にカルチャーショックを感じる場面はなかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の研修を通じて最も強く感じたのは、自分の殻を破ることの大切さだ。現地で生活する中で、イギリスの人々が日本人と比べて圧倒的に社会的であることに驚かされた。街中やホストファミリーとの会話においても、誰もが気さくに声をかけ合い、対話そのものを楽しんでいる姿が非常に印象的であった。その姿勢に強く影響を受け、私自身も積極的に周囲と関わるよう意識した結果、さらに社交的な性格に変化できたと実感している。同時に、自分の思いをより深く、正確に伝えるためには、今の英語力ではまだ不十分であると痛感した。もっと自由に意見を交わしたいという強いもどかしさが、語学学習への新たな原動力となっている。帰国後は、この熱量を維持したまま TOEIC などのスコアアップに励み、将来のキャリアに向けて自分を磨き続けたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オックスフォード大学 Jesus College プログラム
-----	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20,000 円	
図書費・学用品費	0 円	教科書・プリントなどは全て授業時に配布されました
携帯・インターネット費	9,578 円	
現地通学費	8,760 円	(研修先まで 40分)
教養娯楽費	150,000 円	
被服費	0 円	
雑費	17,765 円	ロンドン、ストラットフォード=アボン=エイヴオンまでの交通費
その他	0 円	例:
合計	206,103 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 50ポンドのみ日本で両替。海外で現金を引き出せるプリペイドカード(JAL Pay)も用意しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にクレジットカードを使用しました。Apple Pay にカードを登録しておき、携帯でタッチ決済を行いました。現金を使用する機会はほとんどなく、残ったポンド紙幣は空港での支払いに使用しました。
3) 現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
エージェント経由で紹介された容量無制限のeSIMを購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
のど飴 マフラー、カイロ(季節の変わり目なので、脱ぎ着で調節できる防寒対策が良いと思います) 海外対応の延長コード

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ショルダーバッグを体の前で持ち、財布はバッグ内のファスナー部分に金属チェーンでつなぎとめていました。 また、ロンドンでは、スリ、特にスマホを狙われることが多いため、あまり携帯を外で使わないようにとホストマザーからアドバイスを受けたため、ロンドン観光時には、特に気を引き締めて過ごすように心がけました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
オックスフォード市内ではつながりにくいことが多く、少し不便でした。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とても綺麗で広いお部屋を提供していただき、何不自由なく生活することができました。また、英語を話す機会を増やすため、積極的にホストファミリーと過ごすように心がけました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

英語自体を学ぶのではなく、英語でイギリスの歴史や建築、文学、ジャーナリズム、SDGs などの様々なテーマを学ぶことができた点が良かったです。先生の話をもっと聞いただけではなく、発言を求められる機会やディスカッション、プレゼンテーション、ライティングも多く、非常に充実した時間を過ごすことができました。

2)課外プログラムについて

週に 2~3 回ほど、オックスフォード市内の名所を巡るアクティビティが用意されていました。

3)現地での生活に関すること

オックスフォードは治安も良く、また、大学周辺には、観光名所、飲食店、スーパーマーケット、ショッピングモールが集まっているため、非常に過ごしやすい環境でした。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

放課後アクティビティに、現地学生との交流(フリートーク、カレッジ内キャンパスツアー)の時間が設けられていました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラムで交流した現地学生とオックスフォードのスーパーで遭遇し、短い時間ではありましたが、話す機会がありました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本に比べて、犬を飼っている家庭が格段に多く、ノーリードで犬を散歩させている光景も、時折見かけました。飲食店やショップへの入店が許されているケースも多く、犬に対してフレンドリーな環境でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

大学生活で一度は留学してみたいと考えていたものの、タイミングを逸してしまい、大学卒業を目前にしての留学への挑戦となりましたが、研修先の授業では、大学で4年間学んできたからこそ講義内容の理解が深まる場面も多く、また、卒業論文のテーマに選んだ作品をロンドンで観劇することができたり、MSP(明治大学シェイクスピアプロジェクト)で作品を上演してきたシェイクスピアの生家やお墓を訪れることができたりと、大学生生活の集大成といえる時間を過ごすことができました。

語学面に関しては、イギリスで18日間過ごしたからといって、もちろん、英語が急激に話せるようになるわけではありませんが、英語を英語のまま理解する思考回路や自分の考えていることを英語でなんとか伝えようとする力が身についたように感じていますし、ここで身につけた力を失いたくないと英語学習を頑張るきっかけにもなりました。

日本から遠く離れた場所で長期間過ごすということで、短期研修への参加は勇気のいる決断ではありませんでしたが、一生忘れることのないであろう思い出がたくさんでき、ホストファミリー、学校の先生方、研修期間を共に過ごした友人たちとのかけがえのない出会いにも恵まれ、思い切って一歩踏み出してよかったと心から感じています。これから研修に参加される皆さんの留学が実りあるものとなりますよう、心より応援しています。